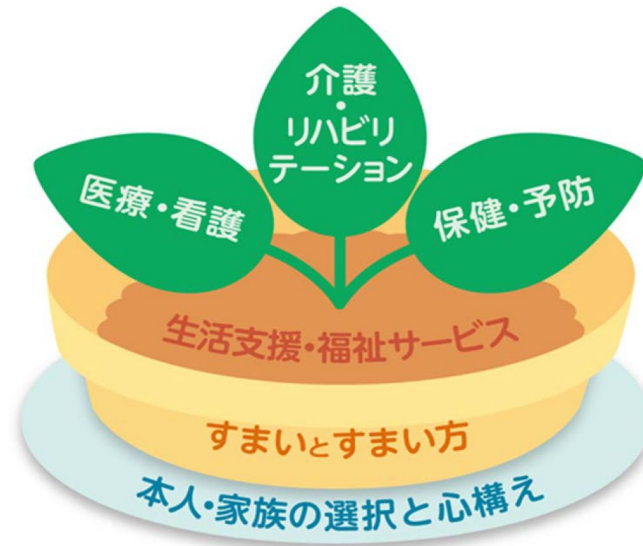


第5回 須高地域の地域包括ケア



シンボルマーク（厚労省HPから）
システムを構成する「介護・医療・予防・住まい・生活支援」の5つの要素を表します。

地域包括ケアの先進地・須高地域

須高地域は、須坂病院・新生病院・轟病院の3病院の連携、また医師会・歯科医師会・薬剤師会の3師会との連携、そして福祉施設、多くのボランティア団体の皆さん、3行政（須坂市・小布施町・高山村）とのネットワークが非常によくとれている、**先進的地域**です。これは、他地域の医療関係者もよくおっしゃいます。

（三木正夫市長挨拶／平成25年8月／長野県地域包括医療協議会支部 須高地区協議会 理事・評議員合同会議）

須坂市を視察してきました。**在宅医療の先進的な取り組み**に関して、...島田市に応用できること、多職種で構成された島田市在宅医療推進協議会作業部会のメンバーが多くの成果を持ち帰りました。

（ツイート／平成26年8月／島田市福祉部包括ケア推進課連携推進係）

須高地域では、医師会をはじめとする関係者の協力による「地域包括ケアシステム」が**全国に先駆けて**取り組まれ、厚生労働省も参考にするような状況とお聞きしています。うれしいことです。

（永井一雄県議決意表明／平成27年3月／県議選必勝総決起集会）

地域包括ケア先進地のあゆみ

昭和20年 旧高甫村（須坂市）で保健補導員発祥（県下初＝全国初）

- 忙しい保健婦（保健師）さんの仕事を手伝う（自主組織）
- 衛生観念・栄養改善・健康意識の普及
- 区（自治会）ごとに1人、2年任期、現在30期目、延べ7,000人が経験
- 経験者のA D Lが高い



健康意識が高い・地域活動への参加

平成18年 地域福祉計画策定

- 福祉の総合化・体系化
- 住民参加・参画、行政との協働
- ワークショップによる策定作業



住民参画・福祉と医療の近接・多職種連携

平成20年4月 須坂病院、産科医不足により分娩取扱い休止

- 地域を挙げての産科医招へい運動
- 21年3月、分娩再開
- 地域住民・医療機関・行政挙げて運動



地域課題に地域を挙げて取り組む

平成21年5月～ 新型インフルエンザ大流行
感染症早期探知システム（安心ネット）構築（22年12月）

平成22年4月 地域医療福祉ネットワーク推進室設置（須坂市須高医師会館内）

平成22年8月 須高地域医療福祉推進協議会発足
第2専門委員会が在宅医療福祉を担当

平成24年度 須高地域、厚生労働省・在宅医療連携拠点事業に採択
須高在宅ネットワーク（24時間サポート体制）構築

平成25～27年度 長野県地域医療再生事業・在宅医療連携拠点事業

在宅医療連携拠点事業

地域の医療は地域で守る

須高在宅ネットワーク

- 在宅療養を365日24時間でサポート体制
- 医師会・3病院（須坂病院・新生病院・轟病院）・訪問看護ステーション
- 在宅療養（後方）支援病院が診療所をサポート

在宅医療安心ネット

- 訪問診療や訪問看護の経過などを記録・照会できる
- 主治医が不在のときでも在宅療養患者の急変に対応できる
- 須高在住でネットワークに参加する診療所・訪問看護ステーションの訪問診療・看護利用者が、主治医の説明を受けたうえで任意に登録できる
- 3病院・17診療所・5訪問看護ステーション・11居宅介護支援事業所が参加

リビング・ウィル

- 終末期医療・ケアについての生前の意思表示

在宅で看取りができる地域づくり

- 終末期医療・ケアについての生前の意思表示書作成・P R
- 患者家族とケアスタッフの不安解消
- 看取りに向けた家族の心構え
- 終末期の患者の具体的な身体の変化、病状の変化とそれへの対応
- 3市町村が共同で対応・支援する



リビング・ウィルの文化を育む

- 先進事例として評価

【財 源】

平成24年度 国の在宅医療連携拠点事業

平成25～27年度 県の地域医療再生事業・在宅医療連携拠点事業

平成28年度～ 地域支援事業／包括的支援事業（在宅医療・介護連携の推進）